

令和3年11月2日

甲斐市水道事業管理者  
甲斐市長 保坂 武 様

甲斐市水道審議会  
会長 田辺 泰明



甲斐市第2次水道ビジョン・甲斐市経営戦略及びアセット  
マネジメント計画の中間見直しについて（答申）

令和3年8月26日付け甲斐業第8-68号で、当審議会に対して  
諮問がありましたこのことについて、次のとおり答申します。

#### 答 申

甲斐市では、平成27年度に「かけがえのない安全なおいしい水をいつまでも」を基本理念とした甲斐市第2次水道ビジョン（計画期間：平成28年度～平成37年度）を策定し、また、平成28年度には水道施設の中長期の更新需要や財政収支を分析し、甲斐市経営戦略及びアセットマネジメント計画（計画期間：平成29年度～平成38年度）を策定し、様々な取組みを進めてこられたところがあります。

甲斐市長からの諮問を受け、これまでの取組みを評価するとともに、今後の検討を行い、一定の結論を得たので以下のとおり答申します。

## 1 水道事業について

甲斐市では、配水池や基幹管路の耐震化に関し、類似団体と比べても高い水準で計画的に取り組まれています。一方で配水管など施設の老朽化も徐々に進んでいきます。健全な水道事業を維持していくために、今後においても水道サービスの根幹である施設の健全度の維持向上に計画的に取り組んでいく必要があります。特に施設の更新工事等を計画的に推進するためには、財源の確保とともに適正な技術職員の確保や育成が必要不可欠です。

## 2 簡易水道事業について

自主財源の乏しい事業ではありますが、水道の供給は欠かせません。特に漏水や施設の健全度の低下は極力未然に改善する必要があります。引き続き、施設の健全度や耐震性の向上が実現できるよう予算確保に努めてください。

## 3 料金改定について（水道事業）

必要な更新工事を計画的に実施していくためには、さらなる料金改定（値上げ）は必要と考えます。改定に当たっては水需要の動向などの社会情勢を踏まえるとともに、今なお続くコロナ禍による市民生活への影響も考慮し、可能な限り抑えるなど慎重な判断が必要です。

なお、今後においても定期的に見直すことが必要です。